#### 介護ロボット等導入支援事業補助金交付要綱 新旧対照表 新 旧 別表(第3条関係) 別表(第3条関係) 別表 (第3条関係) 介護ロボット ICT 次の(1)から(6)までに掲げる項目ごとに掲 次の(1)から(5)までに掲げる項目ごとに掲 区分 ↑護口ボット 次の(1)から(8)までに掲げる項目ごとに掲げた機器等の購 次の(1)から(5)までに掲げる項目ごとに掲げた場合に要す げた機器等の購入、リース、レンタル等に要する げた場合に要する経費。ただし、補助対象外経費 経費。ただし、補助対象外経費の欄に掲げる経費 の欄に掲げる経費を除く。 入、リース、レンタル等に要する経費。ただし、補助対象外経費 の欄に掲げる経費を除く。 ※当該年度の補助による場合を含め、第2条第2項第1 ※当該年度の補助による場合を含め、第2条第 号を滞たしている場合に限る 2項第1号を満たしている場合に限る。 ※研究開発品ではなく、企業が保証する商用の製品に限 ※日中のサポート体制を常設していることが確 認できる製品に限る。 ※研究関発品ではなく、企業が保証する商用の (1) 移乗介護ロボット (1) 介護ソフト (1) 移垂介護ロボット (1) 分譲ソフト ロボット技術を用いて介助者のパワーアシストを行う装 1) 介護ソフト ・新たに導入する介護ソフトの導入 ・第2条第2項第1号を満たすための改修 ・令和3年10月20日付事務連絡「LIFEと介護ソフト間におけ ロボット技術を用いて介助者のパワーア ・新たに導入する介護ソフトの導入 着型の機器 シストを行う装着型の機器 第2条第2項第1号を満たすための改修 ロボット技術を用いて介助者による抱え上げの動作のパ ロボット技術を用いて介助者による抱え 上げの動作のパワーアシストを行う非装着 会和3年10月20日付事務連絡「LIFFと分購ソフ ワーアシストを行う非装着型の機器 るCSV連携の標準仕様について(その3)」に対応するた ト間におけるCSV連携の標準仕様について(そ の3)」に対応するための改修 (2) 移動介護ロボット 複数のソフトウェアを連携させ、一気通賞を満たすための 2 移動介置ロボット 高齢者等の外出をサポートし、荷物等を安全に運搬できるロボット技術を用いた歩行支援機器 ・ 高齢者等の屋内移動や立ち座りをサポートし、特にトイレへの往復やトイレ内での姿勢保持を支援するロボット技術を用いた歩行支援機器 複数のソフトウェアを連携させ、一気通貫を満 改修 「入退院時情報連携標準仕様」を実装したソフトウェアの (2) 移動介護ロボット・ 高齢者等の外出をサポートし、荷物等を たすための改修 「入退院時情報連携標準仕様」を実装したソフ 導入 「訪問看護計画等標準仕様」を実装したソフトウェアの導 安全に運搬できるロボット技術を用いた歩 補 トサーマの海ス 行支網構架 「訪問看護計画等標準仕様」を実装したソフト 高齢者等の屋内移動や立ち座りをサポー 高齢者等の外出をサポートし、転倒予防や歩行等を補助 ・厚生労働省が別途定める方式による 財務諸表のデータ出 特にトイレへの往復やトイレ内での するロボット技術を用いた装着型の移動支援機器 力機能を有するソフトウェアの導入 ※タブレット端末等による音声入力機能等、職員の入力負荷 ・厚生労働省が別途定める方式による 財務請表 姿勢保持を支援するロボット技術を用いた のデータ出力機能を有するソフトウェアの導入 (3) 排せつ支援介護ロボット 歩行支援機器 軽減の機能が実装されている介護ソフトを推奨する。 ※タブレット端末等による音声入力機能等、職員 排せつ物の処理にロボット技術を用いた設置位置の調整 高齢者等の外出をサポートし、転倒予防 の入力負荷軽減の機能が実装されている介護ソ 対 可能なトイレ や歩行等を補助するロボット技術を用いた ロボット技術を用いて排せつを予測し、的確なタイミン 2) 情報端本 ・持ち運びを前提とし、その場で利用者の情報を確認できる タブレット等のほか、職員間の情報共有や職員の移動負担 を軽減するなど効果・効率的なコミュニケーションを図る フトを推奨する。 装着型の移動支援機器 ・ ロボット技術を用いて外でシャカリ、 の地なタイミングでトインへ誘導する機器 ・ ロボット技術を用いてトイレ内での下衣の着脱等の排せ ・ つの一連の動作を支援する機器 (2) 情報端末 2 (3) 排せつ支援介護ロボット ・持ち運びを前提とし、その場で利用者の情報を 排せつ物の処理にロボット技術を用いた ためのインカムなどICT技術を活用したものの導入 確認できるタブレット等のほか、職員間の情報 設置位置の調整可能なトイレ (4) 見守り介護ロボット 共有や職員の移動負担を軽減するなど効果・効 (3) 通信環境機器等 経 4.3 見守り介臓ロボット 介護師設において使用する、センサーや外部通信機能を 備えたロボット技術を用いた機器のプラットフォーム - 在宅介護において使用する、転倒検知センサーや外部通 信機能を備えたロボット技術を用いた機器のプラットフォ ロボット技術を用いて排せつを予測し、的 率的なコミュニケーションを図るためのインカ (2)を利用するにあたり必要なWi-Fiルーター等 確なタイミングでトイレへ誘導する機器 ムなどICT技術を活用したものの導入 Wi-Fi 環境を整備するために必要な機器の導入 ロボット技術を用いてトイレ内での下衣 の着脱等の排せつの一連の動作を支援する (3) 通信環境機器等 (2)を利用するにあたり必要なWi-Fiル クラウドサービス、保守・サポート費、導入設定、導入に あたっての職員のスキルアップ研修、セキュリティ対策、 ーター等Wi-Fi 環境を整備するために必要な機 (4) 見守り介護ロボット (5) コミュニケーション介護ロボット・ 高齢者等とのコミュニケーションにロボット技術を用い ICT連入に関する他事業者からの昭会等に応じた場合 介護施設において使用する、センサーや 外部通信機能を備えたロボット技術を用い 器の導入 た生活支援機器 (5) その他 (4) 保守経費等 た機器のプラットフォーム カオフィス業務(業務効率化に資する勤怠管理、シフ ・クラウドサービス、保守・サポート費、導入設 (6) 入浴介護ロボット ト表作成、人事、給与、ホームページ作成などの業務)の ためのソフトの導入や、電子上での契約書の作成や署名を 行うことができる電子サインシステム、AIを活用したケ ・ 在宅介護において使用する、転倒検知セ ロボット技術を用いて浴槽に出入りする際の一連の動作 定、導入にあたっての職員のスキルアップ研修 ンサーや外部通信機能を備えたロボット技 術を用いた機器のプラットフォーム - 見守り介護ロボットを効果的に活用するた セキュリティ対策、ICT導入に関する他事業 者からの照会等に応じた場合 (7) 介護業務支援ロボット ・ ロボット技術を用いて、見守り、移動支援、排泄支援を はじめとする介護業務に伴う情報を収集・蓄積し、それを みと必要な通信環境整備 (5) その他 介護テクノロジーのパッケージ型導入 第2条第3項第1項及び第2項に定めるものを導入する場合に要する ・バックオフィス業務(業務効率化に資する勤怠 (5) コミュニケーション介護ロボット 基に、高齢者等の必要な支援に活用することを可能とする 管理、シフト表作成、人事、給与、ホームペー 高齢者等とのコミュニケーションにロボ ット技術を用いた生活支援機器 ジ作成などの業務) のためのソフトの導入 (6) 入浴介護ロボット ロボット技術を用いて浴槽に出入りする 導入支援と一体的に行う業務改善支援 第2条第4項第1項及び第2項に定める支援を受ける場合に要する経 第2条第1項第1号ア及びウに該当し、同号イに該当 際の一連の動作を支援する機器 補助金の交付決定前に購入、リース又はレンタル契約を締結したもの 補助金の交付決定を受けた日の属する年度内に当該介護ロボット等の納品や支払いが完了しないもの 補助金の交付決定前に購入 リースマはレンタル契約を締結したもの 補助金の交付決定を受けた日の属する年度の翌年度以降の購入、リース又はレンタルに要する費用 補助金の交付決定を受けた日の属する年度の1月末までに当該介護ロボット等の納品や支払いが完了しないもの 補助金の交付決定を受けた日の属する年度の2月以降の購入、リース又はレンタルに要する費用 保守、サポート、セキュリティ対策等の補助金の交付決定を受けた日の属する年度の翌年度まで継続 ICT導入における保守、サポート、セキュリティ対策等の補助金の交付決定を受けた日の属する年度の翌年度まで継続して して発生する費用のうち当該翌年度以降相当分 発生する費用のうち当該翌年度以降相当分 介護ロボット等の導入について、他の補助事業による補助金の交付を受けているもの又は受けること 介護ロボット等の導入について、他の補助事業による補助金の交付を受けているもの又は受けることを予定しているもの 介護ロボットのメンテナンスに要する費用 介護ロボットのメンテナンスに要する費用 2 インターネット回線使用料等の通信費 インターネット回線使用料等の通信費 設置工事費、施設(修繕)工事費用(ICT(3)に掲げる経費、介護テクノロジーのパッケージ型導入のうち第2条第3項 経 設置工事費、施設(修繕)工事費用(<u>介護ロボット(4)、及び</u>ICT(3)に掲げる経費は除く。) 持ち運びを前提にせず事業所に置くパソコンやプリンター等の端末の購入、リース又はレンタルに要する費用 持ち運びを前提にせず事業所に置くパソコンやプリンター等の端末の購入、リース又はレンタルに要

介護ロボットのその他機器のうち、一般的な用途に限定される機器等

? 号様式(その	1)						別記第2号	様式(その	01)					
記第2号様式(第5条、第	7条及U第8条関係)				( ~	D1)		別記第2号様式(第	5条、第7条及0	7第8条関係)				(その1)
	介護ロボッ	卜等導入計	一画書						3	介護ロボ	ット等導フ	書画情		
※導入する施設・ロボッ	トごとに作成をしてくた	ださい。			年 月	日		※導入する施設	・ロボットごとに	作成をしてく	ださい。	for 162	令和 年	月日
TO THE RESIDENCE OF THE PARTY O				者名	42 0-XX							連		
			連	8先				法人名		介護サービン	ス事業所名	介護サービスの種	類 利用定員数	所在! (市町村
法人名	介護サービス事	業所名	介護サービスの種類	利用定	員数	所在地 (市町村)		S1 11 21 111		· Valentin		3/1		
								事業所の介護	職員数前年	度の介護職員			-	
補助要件】								(前年度末時 常勤 人	合計 常3	~	合計			
##W安日1 ①LIFEによる情報収	ちゃかわせる							非常動人 のLIFEによる	情報収集へ位力		0人			
②補助事業により、業績 向上が図られるとともに	多の改善・効率化等が		の業務負担軽減やサー 載員の賃金へも適切に選					②補助事業に	kり、業務の改善 上が図られるとと	・効率化等にもに、収支の		議員の業務負担軽減やサー れた場合には、職員の賃金・		
職員等に周知する の独立行政法人情報処	理推進營機(IPA)[SR	CURITY ACTIO	N]の「★一つ星]又は「★	★二つ星1のい	ずれかを	a		【介護ロボット導	[入計画①] ( <i>f</i>	<b>介護ロボットの</b> 装	入補助を申請す	る場合に記入してください。)		
言している ※1			*業所向けセミナー」を受					介護ロボットの 製品名	介護ロボット のメーカー名			購入方法 (番号を選択してください)	リース・レンタル・ 契約予定期 (満3年以上の契約	期間
※1 申込み後にシステム	から自動送信されるメール	レ等、宣言完了が確認	認できるものを添付すること。	满者氏名		11		91	THE STATE OF			1 購入 2 リース	年月日~	年月日
※2 セミナー事後アンケー	中の回合画画寺、受講!	したことかわかるも	5のを終刊すること。	講年月日	ケ	月日		購入、リース又	」 はレンタル等に	(予定額合計)			1	円
			3	нтиц				要する経	費の内訳 込)	(内訳)				
个護ロボット導入計画】	(介護ロボットの導入補助	を申請する場合に記	記入してください。)					見守り機器の	0導入に伴う	(予定額合計)				円
介護ロボットの 介護ロ 製品名 メー	ボットの 介護ロボッカー名 トの種別	導入する 機器等の 数	購入方法 番号を選択してください)		ンタルの対	ij		通信環境整 経費(	備に要する O内訳 込)	(内訳)	1 .0	- 11		
			1 購入 2 リース			年月日		達成すべき目	・導入により 镖・期待される 長等					
購入、リース又はレン		NV 176	W.		P.	1		3403	K-17	81 4 1	<u> </u>			
等に要する経費の内 (税込)	訳 (内訳)													
167200 15 00								介護ロボット (満3年	の使用計画 以上)					
導入スケジュール	20 20 21									10 I				
CT導入計画】(ICTの	導入補助を申請する場合 導入のた   導入する	に記入してください。	,)					海ナー1.	25 1					
めの健東等名のの	イーカー 機器等の 名 数	購入に要	要する経費(税込)					導入スケ	ンユール					
		_	F					【介護ロボット導	注入計画②】(3	3/4の補助率を	適用する場合は	記入してください。)		
			F	ra e					は既に導入して	(見号	が機器)			Y
*			E	p.					のICT機器、介	(インカム・ 等のIC	スマートフォン CT機器)			
3	81	.5-	0 F					護記録ソフト			己録ソフト)	191 <sub>4 - 10</sub> 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	Till medyn	N 1
	<b>報共有未務、前米未</b> 額	」 第を一気無貝で打	rx on .					上記機器等を	舌田し 効率化	(従前の人員	体制)	(介護ロボット	等導入後に見込む人員	体制)
能等	た介護ソフトにより、既に まなほぼ無機が免費。レ			ソプト名	NAME OF STREET	ent to the same of		される介護職員		=,5				
必販売 した 介護ソフトが 連書等 ※ケアプラン標準 に確認し ※1				<b>スは「別添①表</b>	うン標準仕様語 最新版のケアフ 確認書」を発信	ラン標準仕様		人員体制を効理 具体的な	率化するための 取組予定					
記載して でない。 ②研究開発品で	ではなく、企業が保証す	る商用の製品で	あるか。					利用者のケアの	の質の維持・歯					3, 5
								上や職員の体	静時間の確保					

#### 別記第2号(その2) 別記第2号(その2) 【ICT導入計画】(ICTの導入補助を申請する場合に記入してください。) (その2) (その2) ICT導入のた めの端末等名 めのメーカー名 機器等の 購入に要する経費(税込) 【介護テクノロジーのパッケージ型導入】 (パッケージ型導入補助を申請する場合に記入してください。) リース・レンタルの場合の 円 介護ロボッ 導入する 契約予定期間 製品名 メーカー名 1/ICTO 機器等の (番号を選択してください) 円 (満3年以上の契約が必要) ※ICT導入の場合入力不要 種別 数 ※ICT導入の場合入力不要 円 1 購入 2 リース 年月日~ 年月日 21 0円 O記録業務、情報共有業務、請求業務を一気通貫で行えるか。 ソフト名 ※過去に導入した介護ソフトにより、既に一気通費となっている場合等も「O」と回答すること 1 購入 2 リース 年月日~年月日 能等 ②ケアプラン 標準仕様連携対象サービスの場合、ケアプラン 標準仕様に準拠した 介護ソフトか。 ※1 ケアプラン標準仕様連携対象 サービスは「別秀①最新版のクアプラン標準仕様への対応状況確認書」を ※ケアプラン標準仕様書の対象ではないサービスの場合も「O」と回答すること ※販売 業者等 に確認し 記載して 1 購入 2 リース 年月日~ 年月日 ②日中のサポート体制を常設しているか 送付すること Fさい ④研究開発品ではなく、企業が保証する商用の製品であるか。 1 購入 2 リース 年月日~ 年月日 (予定額合計) 円 ICTを導入する意義・目的 期待される効果等 購入、リース又はレンタル ICTの使用計画 10.10世界新丁四 (協人による業務フローの見直し、協入を 達めるための実施体制、距離への原作計 画や技術的な支援体制の整備についても 検討を行い、必要に応じて計画に整り込む 等に要する経費の内訳 (内訳) (税込) 導入スケジュール 見守り機器の導入に伴う 予定額合計 円 独立行政法人情報処理推進機構(IPA)「SECURITY ACTION」の「★一つ星」又は「★★二つ星」のいずれかを宣言しているか ※2 通信環境整備に要する ※2 申込み後にシステムから自動送信されるメール等、宣言完了が確認できるものを派付すること。 経費の内訳 [ICT導入の補助実績] (過去に本事業によるICT導入に係る補助を受けた場合に記入してください。 補助を受けた端末等名 補助年度 補助を受けた強額(模込) (税込) 四川 導入スケジュール ▽パッケージ型導入支援でICT機器を導入する場合は下記も記入▽ 2+ 0 円 | W記録未務、開報共有未務、請求未務を一気週員で行えるか。 ICT機 ※過去に導入した介護ソフトにより、既に一気通言となっている場合等も「〇」と回 ※3/4補助率適用の場合、下記1~皿のいずれかを満たすこと (下表は3/4補助率を適用するかに関わらず、該当があれば記載ください。) ソフトタ 能等 I 【LIFEの利用申請の有無等】 ※ クアプラン標準仕様連携対象サービスの場合、ケアプラン標準仕様に準拠 1 ケアプラン標準仕様連携対象サービ LIFEへの利用申請を行っているか ※3 1申請済み 2未申請 は「別添工最新版のケアプラン標準仕様 ※版密 した介護ソフトか。 の対応状況確認書」を添付すること 兼者等 ※ケアプラン標準仕様書の対象ではないサービスの場合も「O」と回答すること LIFEにデータを提供しているか 1提供済 2提供予定 2の場合予定時期→ 介護ソフトが、CSV連携の標準 1 宝装落 2 未宝装 ※LIPEのCSV取込機能で LIPE にデータを提供 SPANIT **仕様を宝装しているか ※3** Fさい O研究開発品ではなく、企業が保証する商用の製品であるか。 (予定)している場合、3/4補助対象。 データ登録方法 1CSV取組機能 2その他 2の場合具体的に→ ※3 本項目で補助率3/4を適用する場合、次の2点の書類を添付すること。 ・LIFEへの利用申請の受付はがきの写しや、メールの記録等の写し ・別添②「LIFEのCSV取込機能への対応状況確認書」 【導入支援と一体的に行う業務改善支援】(業務改善支援に対する補助を申請する場合は記入してください) ■【データ連携の有無等】 ①事前評価(課願抽出)、②業務改善に係る助言・指導等、②事後評価(導入後の定着支援) ①-1 ケアプランデータ連携システムの利用申請 申請済 2未申請 ケアプランデータ連携シス の実施スケジュール テム等を利用して、ケアプラ ①-2 ケアプランデータ連携システムでの連携 |連携済2連携予定 3予定無し 2の場合… (1) 第三者による業 ン標準仕様に準じて出力さ ② ケアプランデータ連携システム以外のシステムでの連携 1連携済 2連携予定 3予定無し 務改善支援 れたCSVファイルにより居 宅サービス計画書等の 連携内容 ②で連携す データ連携を行っているか と回答し \*\*回一の介護ソフトベンダーが提供 する介護ソフトユーザー間のみの データ連携は、3/4補助の対象外。 \*\*CSソファイルによるデータ連携 が、3/4補助対象。 場合、右欄を 連携先 研修名等及び実施時期 (2) 介護現場におけ 記載くださ る生産性向上の取 We 連携方法 組に関する研修・相 Ⅲ【文書量半減】 談等による支援 利用者ごとの計画作成や記録に係る書類 (例:アセスメントシート、サービス担当者会議録) (予定額合計) 円 介護報酬の請求に関する文書 (例:サービス提供表、介護給付費明細書) (1) 及び(2) に 対象となる文書 実施記録 (例: 送迎の記録、入浴の記録) 要する経費の内訳 (内訳) (税込) 加算に係るチェックシート、スクリーニング様式等(例:各種スクリーニング様式等) その他 書類名を記載して下さい-見込まれる削減割合

#### 別添① 最新版のケアプラン連携標準仕様への対応状況確認書 別添① ベンダー名 介護ソフト名 対応状況の情報掲載URL 国保中央会ペンダーテスト 実施 ( 申込済 - 実施中 - 終了( 合 - 不合 ) ) - 未実施 1 対象サービス(該当箇所に〇) 11 訪問介護 62 介護予防訪問入浴介護 12 訪問入浴介護 63 介護予防訪問看護 13 訪問看護(※定期巡回連携型を含む) 64 介護予防訪問リハビリテーション 14 訪問リハビリテーション 66 介護予防通所リハビリテーション 15 通所介護 67 介護予防福祉用具貸与 16 通所リハビリテーション 24 介護予防短期入所生活介護 17 福祉用具貸与 25 介護予防短期入所療養介護(介護老人保健施設) 21 短期入所生活介護 26 介護予防短期入所療養介護(介護療養型医療施設等) 22 短期入所療養介護(介護老人保健施設) 2B 介護予防短期入所療養介護(介護医療院) 23 短期入所療養介護(介護療養型医療施設等) 34 介護予防居宅療養管理指導 2A 短期入所療養介護(介護医療院) 74 介護予防認知症对応型通所介護 31 居宅康養管理指導 75 介護予防小規模多機能型居宅介護 71 夜間対応型訪問介護 69 介護予防小規模多機能型居宅介護(短期利用) 76 定期巡回·随時対応型訪問介護看護 介護予防認知症対応型共同生活介護(短期利用) 72 認知症対応型通所介護 A1 訪問型サービス(みなし) 78 地域密着型通所介護 A2 訪問型サービス(独自) A8 訪問型サービス(独自/定率) 73 小規模多機能型居宅介護 68 小規模多機能型居宅介護(短期利用) A4 訪問型サービス(独自/定額) 77 看護小規模多機能型居宅介護 A5 通所型サービス(みなし) A6 通所型サービス(独自) 79 看護小規模多機能型居宅介護(短期利用) 27 特定施設入居者生活介護(短期利用) A7 通所型サービス(独自/定率) 28 地域密着型特定施設入居者生活介護(短期利用) A8 通所型サービス(独自/定額) 38 認知症対応型共同生活介護(短期利用) 2 出力・取込に対応しているインターフェイスファイル(該当箇所に〇) ①居宅サービス計画書 居宅介護支援事業所 居宅サービス事業所 A 利用者補足情報 B-1 居宅サービス計画1表 B-2 居宅サービス計画1表\_削除 ※ 居宅サービス計画2表 〇:必要 一:不要 ※:任意 ②サービス利用票(提供票) 居宅介護支援事業所 民宅サービス事業所 出力 出力 取込 D 利用者補足情報 E 第6表(サービス利用票)予定 F 第6表(サービス利用票)予定\_削除 ※ G 第6表実績情報 H 第6表実績情報\_削除 | 第7表(サービス利用表別表) 〇:必要 一:不要 ※:任意

ベンタ	ダー名						
介護と	/プト名		nd with			j.	
対応状況	兄の情報 URL						
対象サ	ーピス(ま	·		2 H	カ・取込に対応しているインターフェイスファイ/	レ(該当箇所	(=0)
		訪問介護	15 VIIO 191			出力	取込
	12	訪問入浴介護	V 01	1	利用者補足情報		100 877
	13	訪問看護(※定期巡回連携型を含む)		2	居宅サービス計画1表	III was	N. Y. Sandala
	14	訪問リハビリテーション	4X W, 1	3	居宅サービス計画1表_削除 ※	404 (AV)	w * W 1
	15	通所介護		4	居宅サービス計画2表	THE STATE OF	13
	16	通所リハビリテーション	10.100	5	第6表(サービス利用表)、実績情報	W. Asia	Total Name
	17	福祉用具賞与	11177	6	第6表(サービス利用表)、実績情報。削除 ※	ni in	1100 700
	21	短期入所生活介護	Y= " (	7	第7表(サービス利用表別表)		L
	22	短期入所療養介護(介護老人保健施設)		<b>※は</b>	The state of the s	-	
	23	短期入所療養介護(介護療養型医療施設等)		1			
介		短期入所療養介護(介護医療院)	W.V.W	1			
介護給	31	居宅療養管理指導	Y V AIT	1			
付	71	夜間対応型訪問介護					
	76	定期巡回·随時対応型訪問介護看護					
	72	認知症対応型適所介護	1 100 101	1			
	78	地域密着型通所介護	10 11				
	73	小規模多機能型居宅介護	(p.700.8)				
	68		0		- 11		
	77	看護小規模多機能型居宅介護	_	_ '			
	79	看護小規模多機能型居宅介護(短期利用)					
	27	特定施設入居者生活介護(短期利用)		1			
	28	地域密着型特定施設入居者生活介護(短期利用)	V IVV				
		認知症対応型共同生活介護(短期利用)					
		介護予防訪問入浴介護	10,000	1			
	_	介護予防訪問看護	The latest				
	_	介護予防訪問リハビリテーション					
	66	介護予防通所リハビリテーション	Your				
	200	介護予防福祉用具賞与		1			
		介護予防短期入所生活介護		1			
予防		介護予防短期入所療養介護(介護老人保健施設)					
给	26	介護予防短期入所療養介護(介護療養型医療施設等)					
付	2B	介護予防短期入所療養介護(介護医療院)		1			
		介護予防居宅療養管理指導		1			
		介護予防認知症対応型適所介護	1	1			
		介護予防小規模多機能型居宅介護		1			
	69	介護予防小規模多機能型居宅介護(短期利用)	7	1			
	39	介護予防認知症対応型共同生活介護(短期利用)					
_		訪問型サービス(みなし)					
		訪問型サービス(独自)					
		訪問型サービス(独自/定率)					
総		訪問型サービス(独自/定額)					
合事	12.00	町同型サービス(赤白/ 定額) 適所型サービス(みなし)	EWE	1			
*	_	通所型サービス(独自)					
			M1111	-			
	A7	通所型サービス(独自/定本)					

別添② 別添② (削除) 別添② LIFEのCSV取込機能への対応状況確認書 出力に対応しているインターフェイスファイル(該当箇所にO) インターフェース項目名 全て 一部 利用者情報 科学的介護推進情報 科学的介護推進情報(既往歴情報) 科学的介護推進情報(服薬情報) 栄養·摂食嚥下情報 口腔衛生管理情報 口腔機能向上サービス管理情報 生活機能チェック情報 興味関心チェック情報 個別機能訓練計画情報 リハビリテーション計画書(医療介護共通部分) リハビリテーション計画書(介護) リハビリテーション会議録(様式3情報) リハビリテーションマネジメントにおけるプロセス管理票(様式4情報) 生活行為向上リハビリテーション実施計画書(様式5情報) 褥瘡マネジメント情報 排せつ支援情報 自立支援促進情報 薬剤変更情報 薬剤変更情報(既往歴情報) ADL維持等情報 その他情報

#### 別記第3号様式 別記第3号様式 別記第3号様式(第5条、第7条及び第8条関係) 別記第3号様式(第5条、第7条及び第8条関係) 介護ロボット等導入支援事業補助金所要額調書 介護ロボット等導入支援事業補助金所要額調書 法人名: 法人名: 事業所名: 事業所名: 介護サービス種別: 【介護ロボット等】 介護サービス種別: 【介護ロボット】 1機器当たりの 対象経費合計額 (税込) A×3/4 (千円未満 切捨て) 製品名 介護ロボット等の 種別 補助所要額 (D×E) 既交付決定額 差引補助所要額 (F-G) メーカー名 補助率 <移乗、入浴、その他機器 1,000,000 300,000 <移乗、入浴、その他機器 1機器当たりの 補助基本額 C又はDのいずれか 低い額) 等の数 1,000,000 1機器当たりの 対象経費合計額 (税込) A×B (千円未満 切捨て) 製品名 1機器当たりの 補助限度額 差引補助所要額 介護ロボットの種別 既交付決定額 300,000 <移乗、入浴、その他機器 メーカー名 > 1,000,000 <上記以外> 200,000 <移乗、入浴> 0 1,000,000 <移乗、入浴以外> [ICT] <移乗、入浴> 職員数 ※小数点以下は四括五人 して記入 1,000,000 <移乗、入浴以外> 補助基準額 <移乗、入浴> 1,000,000 <移乗、入浴以外> 本事業によるIC 工場入に係る既補 助額(前年度までの 補助も含む。) 補助基本額 L又はNのいずれ 低い額) 凯思名 既交付決定額 合計 0 補助基本額 K又はLのいずれ; 低い額) A×J (千円未満 切捨て) 補助限度額 補助所要額 歷交付決定額 見守り機器導入に伴 通信環境整備 (円) 0 7,500,000 【介護テクノロジーのパッケージ型導入支援】 メーカー名 [ICT] 職員数 ※小数点以下は四捨五入 して記入 補助基準額 本事業によるIC T適入に係る脱補 助額(前年度までの 補助も含む。) 対象経費合計額 \_(税込)\_ Q×T (千円未満 切捨て) 補助基本額 J又はWのいずれ: 低い額) 差引補助所要額 (Y-Z) 補助上限額 (S-V) 補助所要額 既交付決定額 メーカー名 【導入支援と一体的に行う業務改善支援】 ×3/4 (千円未満 切捨て) 野空付決定額 補助所要額合計 (Iの合計+P +AA) (注) 1 A欄及びQ欄に記入する補助率については、一定の要件(要摘第4条)を満たす場合は3/4、それ以外は1/2とする。 2 C欄、K欄及びU欄に千円未満の端数が生じた場合は切り拾てて記載すること。 3 R欄については、申請時点における常勤換算方法により算出された人数とする。なお、通年度にICT補助金の交付を受けている場合は、通年度と当該年度で少ない方を算定すること。 (注) 1 B欄、L欄、工程及びAA欄に千円未満の端数が生じた場合は切り捨てて記載すること。 4 S 種は、敵員数 (R種) に応じて算出すること。 1名~10名 1.000.000円 11名~20名 1.800.000円 21名~30名 2.000.000円 31名以上 2.800.000円 2 1幅については、単語時点における常勤検算が地により算出された人数とする。なお、通年底にICT機助金の交付を受けている場合は、通年度と当該年底で少ない方を算定すること。 ※額員数の算出に関して、常勤・昇常動の別は関わない。 3 J機は、販買数 (I棚) に応じて算出すること。 1名~10名 1,000,000円 11名~20名 1,600,000円 21名~30名 2,000,000円 31名以上 2,600,000円 5 ▽欄について、本事業による介護ロボット導入に係る補助額は含めないものとする。 5 M欄について、本事業による介護ロボット導入に係る補助額は含めないものとする。

# 別記第9号様式

別記第9号様式(第9条関係)

介護ロボット等導入支援事業実績報告書

令和 年 月 日

和歌山県知事 様

申請者住所 =

氏名又は名称 代表者役職 氏名

年 月 日付け 第 号 で補助金の交付決定のあった介護ロボット等 導入支援事業について、和歌山県補助金等交付規則第13条の規定により、その実績を関係書類を添えて報告します。

1ページ

### 添付書類

- □1 介護ロボット等導入支援事業補助金精算額調書(別記第10号様式)
- □2 収支決算額内訳書(別記第11号様式)
- 3 収支決算額内訳書(別記第11号様式)に記載した支出額の内訳を確認できる書類 □ 発注書、契約書など交付決定後に事業着手したことが分かる書類
  - □ 納品書、請求書など納品されたことが分かる書類
  - □ 領収書、振込明細書及び預金通帳等の写しなど支払ったことが分かる書類
- □4 導入した介護ロボット等の写真
- □5 <業務改善支援について補助を受けた場合>業務改善支援の内容がわかるもの
  - (1) 第三者による業務改善支援を受けた場合は下記3点の実施内容がわかるもの
  - ①事前評価(課題抽出)、②業務改善に係る助言・指導等、③事後評価(導入後の定着支援も可)
  - (2) 介護現場における生産性向上の取組に関する研修・相談等による支援の内容がわかるもの

### 【連絡先】

部署名	
担当者氏名	
電話番号	
E-mail	

# 別記第9号様式

別記第9号様式(第9条関係)

介護ロボット等導入支援事業実績報告書

令和 年 月 日

和歌山県知事 様

申請者住所 =

氏名又は名称 代表者役職 氏名

年 月 日付け 第 号 で補助金の交付決定のあった介護ロボット等 導入支援事業について、和歌山県補助金等交付規則第13条の規定により、その実績を関 係書類を添えて報告します。

# 1ページ

## 添付書類

- 1 介護ロボット等導入支援事業補助金精算額調書(別記第10号様式)
- 2 収支決算額內訳書(別記第11号様式)
- 3 収支決算額内訳書(別記第11号様式)に記載した支出額の内訳を確認できる書類 (例 発注書、契約書、納品書、請求書、領収書、振込明細書及び預金通帳等の写し)
- 4 導入した介護ロボット等の写真

### 【連絡先】

■ 大王 小日 ノ G J	
部署名	
担当者氏名	
電話番号	
E-mail	

# 別記第10号様式 別記第10号様式(第9条関係) 介護ロボット等導入支援事業補助金精算額調書 事業所名: 介護サービス種別: 【介護ロボット等】 介護ロボット等の 種別 1機器当たりの 対象経費合計額 (税込) 既交付決定額 差引補助所要額 (F-G) 製品名 1機器当たりの 補助限度額 補助所要額 (D×E) メーカー名 (円) <移乗、入浴、その他機器 1,000,000 <上記以外> 300,000 <移乗、入浴、その他機器 0 1,000,000 <上記は外> 300,000 <移乗、入浴、その他機器 0 1,000,000 <.EBEX.95> 合計 0 [ICT] 補助基準額 本事業によるIC 丁導入に係る既補 助額(前年度までの 補助も含む。) 補助基本額 L又はNのいずれか 扱い額) 既交付決定額 基引補助所要額 (P-Q) 製品名 対象経費合計額 \_(脱込) 補助所要額 【介護テクノロジーのパッケージ型導入支援】 製品名 差引補助所要額 (W-X) 既交付決定額 メーカー名 パッケージ型による導 入 【導入支援と一体的に行う業務改善支援】 差引補助所要額 (AD-AE) 補助限度額 内容 補助所要額合計 (Hの合計+R +Y+AF) (注) 1 B欄、L欄、T欄及びAA欄に千円未満の端数が生じた場合は切り给てて記載すること。 2 I模については、幸騰時点における常勤色算分法により算出された人数とする。なお、通年度にICT補助金の交付を受けている場合は、通年度と当額年度で少ない分を算定すること。 ※職員款の算出に関して、常勤・将常勤の別は問わない。 3 J機は、歌員数 (1機) に応じて算出すること。 1名~10名 1,000,000円 11名~20名 1,800,000円 21名~20名 2,000,000円 31名以上 2,600,000円 5 M欄について、本事業による介護ロボット導入に係る補助額は含めないものとする。

# 第10号様式

							法人名:		
介護ロボット】							事業所名: 介護サービス種別:		
補助率							报当者 (連絡先) :		
тяу∓ А_									
製品名	介護ロボットの種別	1機器当たりの 対象経費合計額 (税込)	A×B (千円未満 切捨て)	1機器当たりの 補助限度額	1機器当たりの 補助基本額 (C又はDのいずれか 低い額)	導入す る機器 等の数	補助所要額 (E×F)	既交付決定額	差引補助所要額 (G-H)
メーカー名				D (円) <移乗、入裕>	E (円)	F	G (円)	H (円)	(円
		1 11	0	1,000,000 <移療、入浴以外>			0	0	
			0	<移乗、入浴> 1,000,000 <移乗、入浴以外>			0	0	
	т г		0	<移乗、入浴> 1,000,000 <移乗、入浴以外>			0	0	
					合計	0	0	0	
宇り機器導入に伴う 通信環境整備	対象経費 _(税	t合計額 (A)	A× J (千円未満 切捨て)	補助限度額	補助基本額 (K又はLのいずれか 低い額)		補助所要額	既交付決定額	差引補助所要額 (N - O)
		(円)	(円)	(円)	M (円)		N (円)	(円)	(円
п									
LOTI			1	7,500,000	- 11		0	0	
ICT】 補助率	戦員数  ※小数点以下は四緒五人 して記入 R	補助基準額 S	1		- 111		0	0	
補助率	※小数点以下は四指五人 して記入	補助基準額 S (円)	1		- > 13		0	0	
補助率	※小飲息以下は四種五人 して記入 R (人) 対象経費合計額 _(規込)	タ×T (千円乗満 切捨て)	本事業によるIC 丁項人に係る既補 財際 (病を重要での 補助も書き)	福助上開額 (S-V)	補助基本額 (UXはWWのいずれた		<b>福助外种额取</b> 用	既交付決定額	差引補助所要額 (Y - Z)
補助率 Q 製品名	※小飲息以下は四種五人 して記入 R (人)	S (円)、 Q×T (千円李雄	本事業によるIC 丁場入に係る形体 助別(前途をかり 補助もまむ。)	福助上開發	議動及本額 (U文記がかべずれか 返い部) X (円)				差引補助所要部 (Y-Z)
補助率 Q 製品名	※小数点以下は四緒並入 して記入 R (人) 対象経費合計額 (保払)	S (円)、 (円)、 (円) (円) (円)	本事業によるIC 丁場入に係る形体 助別(前途をかり 補助もまむ。)	福助上限額 (S-V)	議動及本額 (U文記がかべずれか 返い部) X (円)		+ 表	既交付快室舗 Z (円) 0 相動所質難合計 (Jの合計・P	差引補助所要額 (7-2) A (円)
福動率 Q 製品名 メーカー名	※小数点以下は四緒並入 して記入 R (人) 対象経費合計額 (保払)	S (円) (ロ) (ロ) (ロ) (ロ) (ロ)	李書葉によるIC 丁場入に係る既補 即類(前年度までの 補助も含む。)	補助上限額  (S-V)   W	海田沙巫本額 (U)工程(V)科) (U)工程(V)科) (円)		+ 表	既交付決定額 Z. (甲) 0	差引補助所要額 (7-2) A (円)
補助率 製品名 メーカー名 1 A種及びの報 2 C種、K種別 3 R種(への)	(明)	S (円) S (円	本事業によるIC 下環入に係る政権 財務(前を表し、) V  (要編第4条) を進た  技術で記載すること	  福助上際額   (3 - V) W 0 0 0 1 + 本格のは3/4、それ。	補助基本額  (UZはWのいずれか   数い額)   X   (円)   0		神風的所類類類 (FI)	既交付快電額 Z. (円) 0 i i i i i i i i i i i i i i i i i i i	差引補助所要額 (7-2) A (円